



Think sewing Think future

2026年3月期第2四半期 決算説明会資料

株式会社松屋アールアンドディ | 証券コード: 7317

2025年11月



▶ 01 2026年3月期第2四半期 実績

02 成長戦略

2026年3月期第2四半期実績:サマリー

- 主に円高の影響、前年度の縫製自動機の大口売上の反動減などにより売上高減少となりました。ただし、メディカルヘルスケア事業においては血圧計腕帯の需要が強く生産量が増加し、セイフティシステム事業においてはカーシート事業の採算性改善のほか、自動車生産の回復により生産量が増加したことから、**売上総利益率は大きく上昇し、経常利益以下は3年連続過去最高を更新しました。**

	2024.9 実績(A)	2025.9 実績(B)	前年同期比 (B/A)
(単位:百万円)			
売上高	4,932	4,539	92.0%
売上総利益	1,557	1,546	99.3%
売上総利益率	31.6%	34.1%	+2.5
営業利益	1,062	1,027	96.7%
経常利益	1,091	1,096	100.5%
税金等調整前当期純利益	1,091	1,095	100.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	796	861	108.2%
1株当たり当期純利益(円)	37.49	40.34	107.6%

2026年3月期第2四半期:セグメント別売上高 & 利益

- メディカルヘルスケア事業は、為替が円高に影響したものの、ベトナムでの生産が堅調に推移しており、増収増益となりました。
- セイフティシステム事業においては、前年度の縫製自動機の大口売上の反動減等により売上高減少となるものの、採算性が大きく改善しており、利益の減少は小幅にとどまりました。

(単位:百万円)

	2024.9 実績(A)	2025.9 実績(B)	前年同期比 (B/A)
売上高	4,932	4,539	92.0%
メディカルヘルスケア事業	2,983	3,064	102.7%
セイフティシステム事業	1,872	1,382	73.9%
その他	76	92	120.3%
セグメント利益	1,062	1,027	96.7%
メディカルヘルスケア事業	924	975	105.5%
セイフティシステム事業	265	254	95.9%
その他	25	△19	—
調整	△152	△182	—

2026年3月期第2四半期：連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2024.9 実績	2025.9 実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,382	808
投資活動によるキャッシュ・フロー	△413	△153
財務活動によるキャッシュ・フロー	33	△295
現金及び現金同等物の換算差額	43	△231
現金及び現金同等物の増減額	1,045	128

営業活動によるキャッシュ・フロー

前年度の縫製自動機の大口取引による反動減の影響のほか、円高による影響により減少となったものの、ベトナムでは営業CFは安定しております。

投資活動によるキャッシュ・フロー

主に松屋アールアンドディでの新工場関連投資のほか、松屋ベトナムにおける新規設備投資等の支払によるもの。

財務活動によるキャッシュ・フロー

株主還元のため増配したことによるもの。

(単位:百万円)

	2024.9 実績	2025.9 実績
減価償却費	94	92
設備投資	△312	△139

2025年度(2026年3月期)業績予想

- 業績予想について現時点では据置しますが、メディカルヘルスケアの腕帯受注は増加しており、縫製自動機もインド中心に好調に推移しております。また、カーシートも今後の拡大も見込めるため、通期見通しとしては**過去最高**を更新するものと推測しております。
- 当社グループでは、アメリカにおける関税の影響については直接的な影響は少ないながらも今後注視してまいります。なお、現時点において受注状況に大きな影響は見られておりません。

(単位:百万円)	2025.3 実績	2026.3 業績予想	増減率
売上高	9,567	9,600	100.3%
営業利益	1,953	2,000	102.4%
経常利益	2,054	2,080	101.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,560	1,603	102.7%
為替レート(USD/JPY) 4月～3月平均 2026.3は予想	152.58	142.00	
為替レート(VND/JPY) 4月～3月平均 2026.3は予想	0.0061	0.0056	

01 2026年3月期第2四半期 実績

▶ 02 成長戦略

メディカルヘルスケア事業およびセイフティシステム事業の拡大

- ベトナムを中心とした生産基盤をもとに3D縫製自動化ラインなど自動化に取り組み、メディカルヘルスケア事業及びセイフティシステム事業のそれぞれの受注を拡大する。
- 既存事業にとどまらず、新たな事業へ果敢に挑戦する。

新たな業界への拡大

Medical Healthcare

メディカルヘルスケア事業



血圧計腕帯の取組強化

(工程の自動化推進、サプライチェーン見直しなど)

リハビリロボット事業の強化(新製品導入なども取り組む)

ウェアラブル機器など新しい事業領域への進出

ベトナム新工場の安定稼働、MIC開発力強化

縫製自動機事業の海外販売の強化

エアバッグ・カーシート事業での取引拡大

新たな事業領域への進出
(裁断工程の効率化サービス、生産管理システム etc)

ドローン用エアバッグの開発

Safety System

セイフティシステム事業



ベトナム生産受託事業の拡大：Honai第二工場の建設

- ベトナムにおいて血圧計腕帯やカーシートを中心に今後の生産量拡大が見込まれる状況にあり、現工場での生産スペースが不足する状況。
- 新規受注の増加に対応し、更なる生産スペースを確保するため、現在の工場の近隣地に新工場(敷地面積12,000㎡)を建設予定(2026年9月完成見込)。

概 要

敷地面積	12,000㎡
投資予定額	6億円～8億円(工場の建設費用のみ。土地については既に用地取得済みです。)
資金計画(予定)	自己資金
完成予定	2026年9月を予定 生産開始は2027年4月

工場完成予想



概要

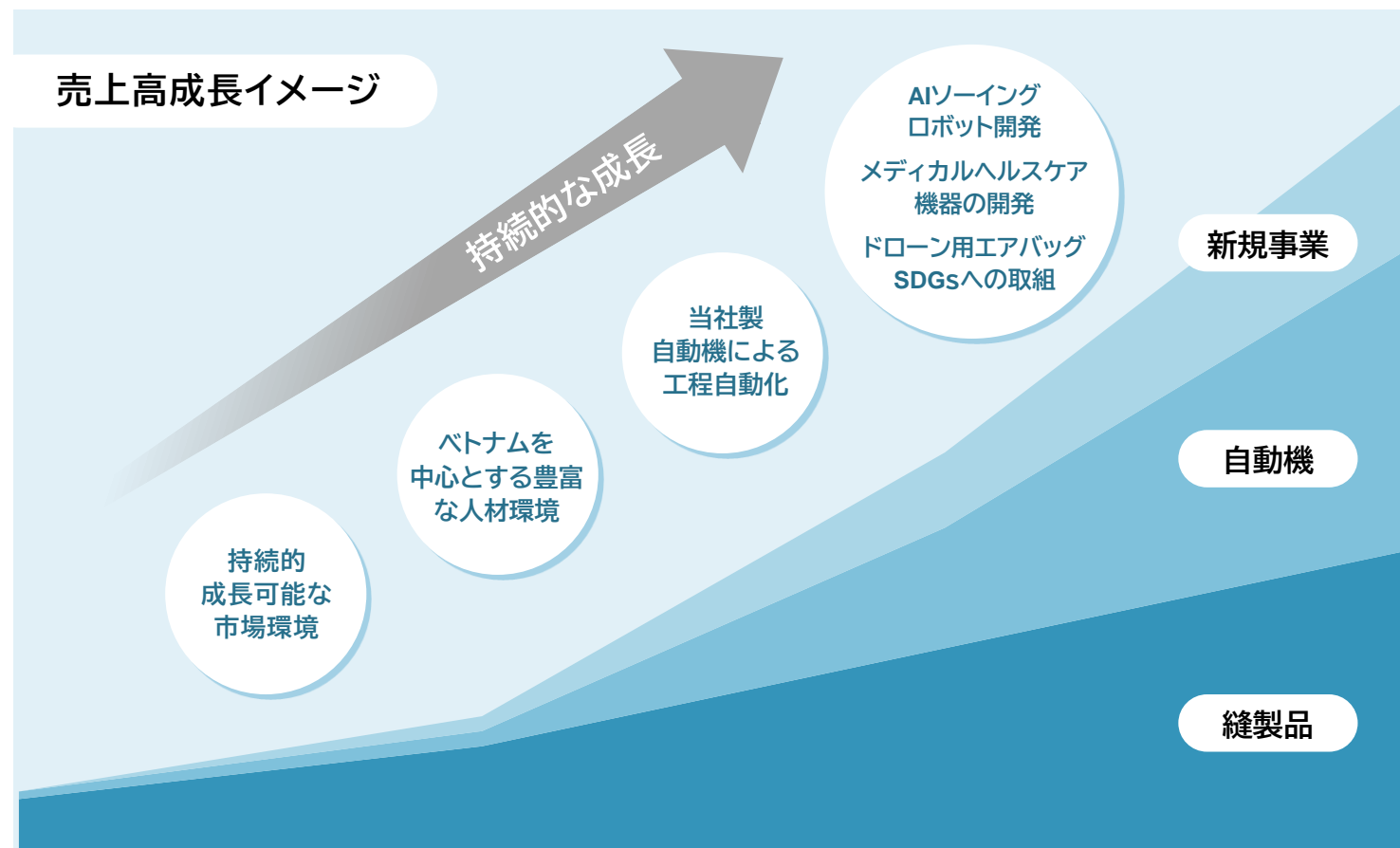
今後の縫製自動機の開発・設計・製造及び血圧計のセンサー部分となる腕帯等の製造などで、現在の大野本社ではスペースが足りなくなっており、この度、近隣地域のドラッグストアの店舗跡を購入しました。新しく工場として建て替えることにより、生産スペースの拡大による生産能力を従来の約3倍に拡大し、生産効率の向上を図ること、自動機ショールームの設置によりテスト稼働を可能して、顧客に即時に商品認定をいただくこと及び従業員がより働きやすい環境を整備することを目的としております。

工場完成予想

概 要	
所在地	福井県大野市鋤掛20字当境10番地
敷地面積	11,376㎡(うち、建物3463.5㎡)
投資予定額	約2億円
投資資産の内容	建物(内装・電気・空調工事等)
資金計画(予定)	自己資金及び借入
完成予定	2026年3月



- 安定収入を生み出すベトナムを中心とした生産基盤を活かし、次世代縫製自動機の開発及び新規事業を中心に経営資源を投入し、持続的な成長を目指します。



新規事業

- ・リハビリ関連事業への進出、ウェアラブル機器の開発
- ・裁断業務サービス、EC事業・・・etc
- ・ドローン用エアバッグの開発・実用化

自動機の開発・製造・販売

- ・3D縫製ロボット、AI画像検査装置を活用した自動化ラインの開発
- ・業務提携により次世代縫製自動機の開発促進を行う。
- ・欧州市場での販促強化

安定した生産基盤

- ・ベトナム及び国内における生産基盤を活かし、新規顧客獲得(複数の商談あり)するほか、積極投資
- ・メディカル部門(血圧計腕帯、防護服、ウェアラブル等)の強化
- ・業務提携、M&Aを視野にした事業拡大

本資料の取扱について

本資料には、将来に関する見通しや、事業戦略が含まれておりますが、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、リスクや不確実性が含まれており、実際の業績等が、これらの見通しや予測とは異なる結果となる可能性があります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界、ならびに市場状況、金利、為替変動等の国内外の経済状況が含まれます。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等については当社は何ら検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。